# 安城の農業

平成２３年５月

安城市

# 目　次


| | | ページ |
|---|---|---|
| １　安城市のあらまし | ・・・・・・ | １ |
| ２　安城農業のあゆみ | ・・・・・・ | ２ |
| ３　安城農業の概要 | ・・・・・・ | ３ |
| ４　安城市の農畜産物 | ・・・・・・ | ６ |
| ５　生産調整の実施状況 | ・・・・・・ | ８ |
| ６　アン・ジョー環境農業推進事業 | ・・・・・・ | ９ |
| ７　安城アグリライフ構想 | ・・・・・・ | １１ |
| ８　アグリライフ支援センター | ・・・・・・ | １２ |
| ９　農業委員会 | ・・・・・・ | １３ |
| １０　農業経営基盤強化促進事業 | ・・・・・・ | １４ |
| １１　農地保有合理化事業 | ・・・・・・ | １５ |
| １２　相続税・農業者年金制度農地 | ・・・・・・ | １５ |
| １３　体系・組織 | ・・・・・・ | １６ |
| １４　安城産業文化公園「デンパーク」 | ・・・・・・ | １７ |
| １５　道の駅デンパーク安城 | ・・・・・・ | ２０ |
| １６　あいち中央農業協同組合 | ・・・・・・ | ２０ |

# 1　安城市のあらまし

## (1)　県下１３番目の市として誕生（昭和２７年５月５日）

安城市は、中部経済圏の中心名古屋市の３０㎞圏内にあり、西三河平野の中央に位置しています。

鉄道はJR東海道新幹線、JR東海道本線、名鉄名古屋本線及び名鉄西尾線のそれぞれ主要な駅があり、道路は国道１号や国道２３号が市域を横断しており、恵まれた交通体系が地域の発展に大きく寄与しています。

また、最近では工業化と宅地化の進展に伴い、農業の集約化、工業の先端化、商業の専門化が進んでいます。

| 市役所の位置 | 市域 | 標高 |
|---|---|---|
| 東経　137度　4分47秒<br>北緯　 34度 57分28秒 | 面積　86.01㎢<br>（市街化区域）　20.94㎢<br>（市街化調整区域）　65.07㎢<br>南北　14.7㎞　東西　10.0㎞ | 最高標点　27.7m<br>最低標点　 0.5m |

## (2)　人口・世帯数

平成２３年１月１日現在　　単位：世帯、人

| 世帯数 | 人口 | | | 人口密度 |
|---|---|---|---|---|
| | 総数 | 男 | 女 | 1㎢当たり |
| 67,877 | **180,911** | 92,634 | 88,277 | 2,103.4 |

## (3)　気象

| 気温<br>（平成２１年） | 年間降水量<br>（平成２１年） | 年間降水日数<br>（平成２１年） |
|---|---|---|
| 平均気温　16.1℃<br>最高気温　36.2℃<br>最低気温　−3.7℃ | 1,508㎜ | 110日 |

| 平年値<br>（昭和５５年～平成２１年の３０年） |
|---|
| 平均気温 16.0℃　年降水量1,284㎜<br>最高気温 37.0℃　年降水日数107日<br>最低気温−3.7℃ |

## ２　安城農業のあゆみ

### (1)　明治用水の開さく

かつて安城市の大部分は、安城ケ原、五箇野ケ原、猿町ケ原などと呼ばれた原野でした。都築弥厚、岡本兵松をはじめとする多くの先人たちの努力によって、明治１３年（1880 年）に明治用水（碧海郡今村上倉池までの新水路）が完成してから、以後年とともに幹線水路、支線水路がひかれ、原野は開墾され、水田に生まれ変わりました。

### (2)　日本デンマークの由来

大正１０年頃から昭和１５年までの安城を中心とする碧海郡一帯は「日本デンマーク」と呼ばれていました。そのように呼ばれるに至ったのは、以下の理由によるものでした。

ア　明治３０年代中頃、町農会、愛知県立農林学校、愛知県農事試験場が相次いで開設され、農都としての発展の基礎が築かれたこと。

イ　農林学校の初代校長として赴任した山崎延吉をはじめ良き指導者と明治用水の豊富な水資源に恵まれ、米麦を中心に畜産、そ菜、園芸など典型的な多角経営農業が行われたこと。

ウ　農民の協同意識が強く、農産物の販売や肥料などの購入を共同で行うなど、産業組合の普及・活動が特に盛んだったこと。

エ　零細貧困状態の農業を何とか引き上げようとする勤勉な精神を持っていたこと。また、全村学校運動により、一般にも学校が開放され、農村教育が行われたこと。

### (3)　農業の組織化

昭和３０年代に入ると土地基盤整備事業が進められ、さらに、昭和４０年代には農業の近代化を図るため大型機械化を積極的に推進し、農業の組織化を全国に先駆けて実施しました。また、昭和５３年に水田利用再編対策がスタートすると、集団転作などの課題に直面しましたが、昭和５６年から集落に農用地利用改善組合を設立し、転作の集団化を成功させてきました。

### (4)　集落農場構築構想

昭和６３年度には、市・安城市農協・桜井農協・安城農業改良普及所との間で協議を重ね、集落全体を一つの農場として捉える集落農場構築構想を打ち出し、翌年度から農用地利用改善組合が実施主体となって集落ぐるみで農業振興に取り組む集落農場構築活動が展開されました。

# 3　安城農業の概要

## (1)　農 家 数

単位：戸、人、％

| 年　次 | 農　　家　　数 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 総　数 | 専　業 | 構成比 | 兼　　業 | | | |
| | | | | 第一種 | 構成比 | 第二種 | 構成比 |
| 平成　７年 | 3,219 | 248 | **8.7** | 379 | **11.9** | 2,556 | **79.4** |
| 平成１２年 | 2,980 | 255 | **8.6** | 240 | **8.0** | 2,485 | **83.4** |
| 平成１７年 | 2,679 | 282 | **15.5** | 316 | **17.4** | 2,081 | **67.1** |

(農業センサス)

## (2)　農家人口

単位：人、％

| 年　次 | 平成７年 | 人口比 | 平成１２年 | 人口比 | 平成１７年 | 人口比 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 人　口 | 16,524 | **11.1** | 12,454 | **7.8** | 8,941 | **5.3** |

(農業センサス)

## (3)　経営耕地面積

単位：ha、％

| 年　次 | 総　数 | 田 | | 畑 | | 樹　園　地 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 面 積 | 構成比 | 面 積 | 構成比 | 面 積 | 構成比 |
| 平成　７年 | 3,283 | 2,834 | **86.4** | 277 | **8.4** | 172 | **5.2** |
| 平成１２年 | 3,127 | 2,681 | **85.7** | 282 | **9.0** | 164 | **5.3** |
| 平成１７年 | 2,622 | 2,272 | **86.7** | 216 | **8.2** | 134 | **5.1** |

備考　平成17年は販売農家（経営耕地面積が0.3ha以上又は、農産物販売金額が50万円以上の農家）のみの数値　　(農業センサス)

## (4)　1農家当たりの経営耕地面積

単位：ha

| 年　次 | 平成７年 | 平成１２年 | 平成１７年 |
|---|---|---|---|
| 面　積 | 1.02 | 1.05 | 1.44 |

(農業センサス)

## (5)　農振農用地（色地）面積

単位：ha

| 年　次 | 平成１２年 | 平成１９年 | 平成２０年 | 平成２１年 | 平成２２年 |
|---|---|---|---|---|---|
| 面　積 | 3,810 | 3,718 | 3,701 | 3,693 | 3,691 |

(6)　農地面積

（1月1日現在）単位：ha

| 年　次 | 平成12年 | 平成19年 | 平成20年 | 平成21年 | 平成22年 |
|---|---|---|---|---|---|
| 市街化区域 | 152 | 83 | 75 | 67 | 61 |
| 市街化調整区域 | 4,002 | 3,846 | 3,824 | 3,780 | 3,768 |
| 合　計 | **4,154** | **3,929** | **3,899** | **3,847** | **3,829** |

（市税課）

(7)　ほ場整備実施率

単位：％

| 年　次 | 平成１２年 | 平成１８年 | 平成１９年 | 平成２０年 | 平成２１年 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実施率 | 99.0 | 99.0 | 99.0 | 99.0 | 99.0 |

（土地改良課）

(8)　パイプライン化実施率

※明治用水の実施率であり安城市外も含む。　　単位：％

| 年　次 | 平成１２年 | 平成１８年 | 平成１９年 | 平成２０年 | 平成２１年 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実施率 | 72.0 | 88.8 | 90.0 | 90.9 | 91.1 |

（土地改良課）

(9)　安城農業士会会員の状況

平成２３年1月現在　　単位：人

| 区　分 | 稲作 | 施設野菜 | 露地野菜 | 花き | 果樹 | 養豚 | 酪農肉牛 | 茶 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 農業経営士 | 16 | 10 | 0 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 32 |
| 青年農業士 | 5 | 4 | 2 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 15 |
| 安城農業士 | 7 | 10 | 2 | 9 | 2 | 0 | 0 | 1 | 31 |
| 合　計 | **28** | **24** | **4** | **16** | **4** | **0** | **1** | **1** | **78** |

＊　農業経営士　　昭和４６年から県が認定
＊　青年農業士　　昭和５１年から県が認定
＊　安城農業士　　会の認定（年齢３６歳から）

(10)　新規就農者数

単位：人

| 年　次 | 平成１９年 | 平成２０年 | 平成２１年 | 平成２２年 |
|---|---|---|---|---|
| 人　数 | 5 | 3 | 2 | 6 |

(11)　認定農業者の状況

平成２３年１月現在　　単位：人、％

| 営　農　類　型 | | 認定農業者 | 構　成　比 |
|---|---|---|---|
| 単一経営 | 稲作 | 44 (6) | 24.0 |
| | 露地野菜 | 8 | 4.4 |
| | 施設野菜 | 23 | 12.6 |
| | 果樹類 | 5 | 2.7 |
| | 施設花き・花木 | 11 (1) | 6.0 |
| | 酪農 | 3 | 1.6 |
| | 肉用牛 | 4 | 2.2 |
| | 養豚 | 2 (1) | 1.1 |
| 小　　計 | | **100** (8) | **54.6** |
| 複合経営 | 稲　作　＋露地野菜 | 6 | 3.3 |
| | 〃　＋施設野菜 | 30 | 16.4 |
| | 〃　＋果樹類 | 15 | 8.2 |
| | 〃　＋施設花き・花木 | 2 | 1.1 |
| | 〃　＋肉用牛 | 1 | 0.5 |
| | 〃　＋養豚 | 1 | 0.5 |
| | 〃　＋その他作物 | 2 (1) | 1.1 |
| | 〃　＋その他畜産 | 1 | 0.5 |
| | 露地野菜＋その他 | 1 | 0.5 |
| | 施設野菜＋その他 | 6 | 3.3 |
| | 施設花き・花木＋その他 | 3 | 1.6 |
| | その他複合経営 | 15 | 8.2 |
| 小　　計 | | **83** (1) | **45.4** |
| 合　　計 | | **183** (9) | **100.0** |

※（　）は法人数

平成２３年１月現在　　単位：人、％

| 区　分 | 20 歳代 | 30 歳代 | 40 歳代 | 50 歳代 | 60 歳代 | 70 歳代 | 80 歳代 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 認　定<br>農業者 | 4 | 16 | 42 | 47 | 53 | 12 | 3 | 177 |
| 構成比 | **2.3** | **9.0** | **23.7** | **26.6** | **29.9** | **6.8** | **1.7** | **100.0** |

ただし、法人分を除く。

# 4　安城市の農畜産物

## (1)　水　稲

**作付面積　１，８７０ヘクタール（県下第３位）**

経営耕地面積に占める水田面積の割合は約６２％と高く、水稲作は本市農業の基幹をなしています。

品種は、**「コシヒカリ」（約５割）、「あいちのかおりＳＢＬ」（約４割）**が中心で、品種別団地化が推進されています。

## (2)　小　麦

**作付面積　１，０７０ヘクタール（県下第１位）**

水田転換作物として振興が図られ、ほとんどが水田で集団転作によって栽培されています。品種は**「農林６１号」、「イワイノダイチ」**が作付されています。

## (3)　大　豆

**作付面積　９４８ヘクタール（県下第１位）**

麦の後作として定着し、農地の有効利用が図られています。

品種は**「フクユタカ」**が作付されています。

## (4)　施 設 野 菜

### ア　きゅうり

**作付面積　１８ヘクタール**

大消費地に近く、気象条件もよいことから昭和３０年頃から栽培が増え、南部地域を中心に栽培されています。

冬春きゅうりは西三河地域が野菜指定産地の指定を受けており、広域的な西三河冬春きゅうり部会の下、統一された品種・規格で地元中京市場へ出荷され、**「三河みどり」**のブランド名で販売されています。

### イ　いちご

愛知県は，全国的に有名ないちごの生産県で、安城市は西三河産地の一翼を担っています。技術面では、昭和６１年から無病苗の供給が始まり、ウイルス病の浸透防止に役立っています。

### ウ　チンゲン菜

歴史的にはまだまだ浅いのですが、年間通じて出荷できることや、現時代の食文化多様化の中で、新しい品目としてチンゲン菜の栽培が始まりました。ハウス温室を使った周年栽培により現在、県下トップクラスの産地となっております。

### (5) 露 地 野 菜

矢作川沖積層地域と南部地域を中心にして、なす、ほうれん草、だいこん、すいか、はくさい、キャベツなどが栽培されています。

### (6) 果　樹

#### ア 梨

明治時代から栽培されて以来、安城市全域で栽培されるようになり、**「安城なし」**として親しまれてきました。

昭和５４年から、それまでの「長十郎」、「二十世紀」から「幸水」、「豊水」、「新高」などへの品種転換がなされ、平成２年には新品種「愛甘水」が品種登録され、栽培されています。

また、平成１８年度に既存の光センサー糖度測定器の改修により品質安定・熟度までの測定ができる「梨光センサー選果機一式」を導入し、**「安城なし」**のブランド化に一役買っています。

平成２２年には新品種「甘ひびき」が品種登録されました。

#### イ いちじく

昭和４６年頃から、転作を契機に作りやすさと収益性から急速に拡大が進み、産地づくりがなされ、隣接の碧南市とで**日本一の産地**となっています。

また、昭和６０年頃からいちじくの加工への取り組みがなされ、ジャム、ワイン、糖果菓子等の製品化がなされています。

#### ウ ぶどう

昭和初期より東端地区でデラウェアの栽培が行われ、種なし技術の開発で収益性を伸ばし、現在では巨峰と合わせて栽培されています。

### (7) 施 設 花 き

#### ア 鉢もの類

西三河地域は鉢もの類の生産では、全国でもトップクラスとなっており、本市では、観葉植物を中心に、洋らん、シクラメンなどが生産されています。

#### イ 切り花

菊を中心として、バラなども生産されています。

### (8) 畜　産

#### ア 乳用牛

**飼養頭数　２１１頭**

酪農ヘルパー制によりゆとりのある経営を目指しています。

イ　肉用牛

**飼養頭数　８６７頭（和牛　８０９頭、　交雑種　５８頭）**

**「安城和牛」**の商標登録はまだされていませんが、生産管理マニュアルに基づいて、品質本位の生産に心がけ、ブランド化の推進をしています。

ウ　養　豚

**飼養頭数　２，８１２頭**

一貫経営により飼養者が定着し、安心・安全・新鮮な豚肉の産地直売に力を入れています。

エ　養　鶏

**飼養羽数　２４，８２８羽（成鶏）**

消費者の食の安全に関する関心の高まりに対応して、産地直売や消費者に分かりやすい表示の推進をしています。

1　水稲、小麦、大豆、きゅうりは、平成２１年度（第５７次）愛知農林水産統計年報より掲載

2　乳用牛、肉用牛、養豚、養鶏は、平成２２年度農務課調べ

## 5　生産調整の実施状況

水田農業構造改革対策実施状況（平成２２年度）

| 区　　分 | 安 城 市 |
|---|---|
| 水稲作付目標面積(A) | 1,912.2 ha |
| 水稲作付実施面積(B) | 1,804.0 ha |
| 水稲作付実施率(B)/(A) | 94.3 % |
| 転作配分参考面積(C) | 1,226.2 ha |
| 転作実施面積(D) | 1,322.1 ha |
| 転作実施率(D)/(C) | 107.8 % |

## 6　アン・ジョー環境農業推進事業（市単独事業）

(1)　目　　的

農用地利用改善組合の自発性と創意が十分発揮され、新たな集落農場の構築や転作の安定化を展開しつつ、特性を活かした魅力ある地域農業の発展を図る。

(2)　事業期間

平成２１年度～平成２３年度

(3)　補助金交付対象

各集落の農用地利用改善組合及びその組合員、ＪＡあいち中央各部会（安城地区）

(4)　補助対象事業

| 項　目 | 補助対象事業 | 内　　容 |
|---|---|---|
| 理想の経営 | 法人化推進 | 複数の農業経営者が法人化した場合 |
| 理想の特産 | 安城農産物特産品の新規栽培 | いちじく、梨、並びに施設栽培野菜（きゅうり、チンゲンサイ及びイチゴ）の新規栽培をした場合 |
| | 施設作物の新規栽培 | 施設作物の新規栽培をした場合 |
| | 安城特産果樹の改植 | いちじく、梨の改植をした場合 |
| 理想の生産 | 転作団地化推進 | 転作地を団地化した場合 |
| | 面的集積 | 水田の面的集積を行った場合 |
| | 畦畔除去 | 水田の畦畔を除去した場合 |
| | 水稲低コスト栽培 | 水稲の低コスト栽培を実施した場合 |
| | 水稲の団地化栽培 | 水稲うるち品種の作付を団地化した場合 |
| | 担い手のエリア化推進 | 農地（水田）を１担い手に集積をした場合 |
| | 食料自給率の向上対策 | 転作団地外農地（水稲）で水稲収穫後、露地野菜を作付した場合 |
| 理想の集落 | 農業祭・朝市・夕市の開催 | 農業祭又は朝市・夕市を実施した場合 |
| | 地産地消推進 | 消費者に対し、地産地消を推進する事業を実施した場合 |
| | 親しみ農業の推進 | 農業への理解を深める事業を実施した場合 |
| | 食育の推進 | 食への理解を深める事業を実施した場合 |
| | 広域集落活動の推進 | ２以上の集落が共同で農業振興のために活動を実施した場合 |

| 項　目 | 補助対象事業 | 内　　容 |
|---|---|---|
| 理想の環境 | ほ場美化の実施 | ほ場美化及び土づくりを実施した場合 |
| | 堆肥利用による土づくり推進 | 堆肥による土づくりを実施した場合 |
| | 生分解性マルチを使用した産地化推進 | 生分解性マルチを使用した産地化を図るための事業を実施した場合 |
| | 環境に配慮した水稲直播きの促進 | 浅耕鎮圧式による整地をし、水稲直播きを実施した場合 |
| | 環境保全の推進 | 農業用廃ポリ・廃ビニールの回収を実施した場合 |
| | 環境に配慮した提案型事業 | 環境に配慮した農業に関する独自の事業を実施した場合 |

## 7　安城アグリライフ構想

### (1)　目　　的

市域のおよそ半分を農地が占める本市において、今ある農地をいかに有効活用するかが重要です。優良農地を適切に保全するという「量」的な施策と、農地や「農」を媒体に市民の様々な取組みや交流を促進させるという「質」的な施策を一体的に推進することが、本市の農業振興策につながるといえます。

アグリライフ＝「農」のある暮らしを普及・促進することを通して、農業の持続的発展及び優良農地の保全を図ることを目的とします。

本構想は、次の３点を施策の推進方向とし、実現に向けた検討を進めていきます。

1　農業体験や農作物の栽培技術研修等を通して、“楽農人”を育成します。

2　農作業や野菜作りの体験を通して、市民と農業者との交流や自然とのふれあいを深めます。

3　「食」と「農」への理解の促進を図り、市民の健康づくり・生きがいづくりの場を創出します。

### (2)推進期間

安城アグリライフ構想は、２００８年（平成２０年度）を初年度として２０１７年（平成２９年度）までの１０年間を推進期間とします。

また、本構想における施策の事業効果を高めるため、短期間に重点的に行う個別事業については、５年以内を目途に実現を目指すこととします。

### (3)　事業内容

**安城アグリライフ構想**

| | | |
|---|---|---|
| 食を知り農を学ぶ（普及と「食」・「農」の体験） | 安城アグリライフ構想の情報発信 | 市ホームページ『市民楽農倶楽部』の開設 |
| | 「食」と「農」にふれる機会の創出 | 市民を対象とした多彩な農業体験イベントの実施 |
| | 「食」と「農」への理解促進 | “楽農人”の認定、楽農リーダーの出前口座の実施 |
| 農を楽しむ人づくり（支える人づくりのための拠点を創設） | “楽農人”の育成 | 栽培技術研修の実施 |
| | “楽農人”を育てる人づくり | 楽農リーダーの育成講座、登録制度の実施 |
| | 「農」を応援する仕組みづくり | 援農サポーター制度の実施 |
| 農を介した交流促進（身近な市民農園の整備促進） | 身近な市民農園の整備促進 | 市民農園の開設、運営支援 |
| | 市民と農業者との交流促進 | 地域交流事業の開催 |
| | 市民農園の持続的な事業展開 | 市民農園運営組織のネットワーク化 |

## ８　安城市アグリライフ支援センター

(1)　全体面積

３，５６７㎡（宅地９９１㎡、農園２，５７６㎡）

(2)　問い合わせ先

**安城市アグリライフ支援センター**

〒４４４－１２０１　　安城市石井町辻原１３１番地２

Tel　０５６６－９２－６２００　　Fax　０５６６－９２－６１２２

(3)　施設概要

| 施設の名称 | 面積（㎡） | 施設の内容 |
|---|---|---|
| 事務所・研修棟 | （延床面積）<br>２２１．１３ | 事務室、共有スペース、給湯室、更衣室、トイレ、研修室 |
| トイレ棟 | （延床面積）<br>１６．２９ | トイレ、シャワー室 |
| 倉　　庫 | （延床面積）<br>９５．３０ | 農機具、農薬、資材等の収納 |
| ビニールハウス | ７２ | 電源、換気扇、自動灌水設備 |
| 実習農園 | ２，５７６ | ①　実習農園区画　３０区画<br>（１区画約３０㎡：１２ｍ×２．５ｍ）<br>②体験・スポット講座共同ほ場　　約４７５㎡<br>③その他施設　暗渠排水管、農水給水口９箇所、洗い場設置（給水口２箇所） |

(4)　平成２２年度研修内容

ア　野菜づくり「入門コース」

| | | |
|---|---|---|
| 対象者 | | 安城市内在住者で農業未経験者及び初心者（年齢制限なし） |
| 研修期間 | | 各約６ヶ月（春夏・秋冬野菜づくりコース） |
| 募集人員 | | 各３０名（３０名×２コース＝６０名/年） |
| 研修内容 | 研修構成 | 座学と実習を実施 |
| | 研修日 | 週２日程度 |
| | 研修時間 | 平日の午前中２時間半程度 |
| | 研修方法 | ３０名を２分し、それぞれの指定日に受講していただく。 |
| | 実習 | １人１区画（約３０㎡：１２ｍ×２．５ｍ）を管理する。<br>収穫作物は、該当区画の受講生のものとする。 |
| | 実習作物 | 共通作物（指定作物）と選択作物（受講生の希望する作物）を栽培する。<br>※共通作物の種子、種苗はセンターより支給、選択作物は受講生が持参する。 |
| | 受講料 | １万５千円（共通作物の種苗費、教材費、保険料などを含む） |

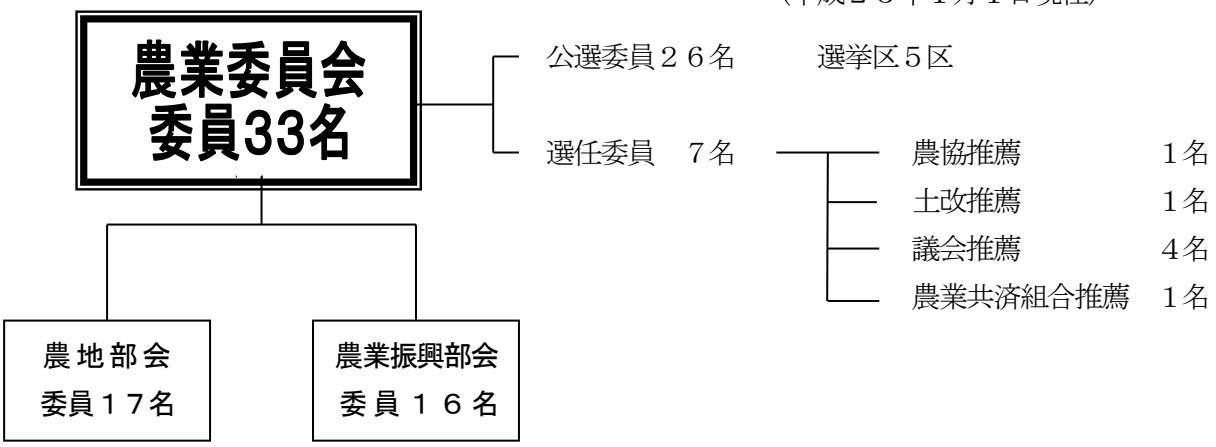
イ　「体験・スポット講座」

| 項　　目 | | ①プランター栽培 | ②親子栽培体験 |
|---|---|---|---|
| 対　象　者 | | 安城市在住、在勤者 | 安城市在住、在勤者<br>小学生以下の子どもとその親 |
| 研 修 期 間 | | ２回（各回半日） | ２回（延４日いずれも半日） |
| 募 集 人 員 | | 各回２０～３０名程度 | 各回３０組程度 |
| 研修内容 | 研　修　日 | 土、日曜日に実施 | |
| | 研 修 方 法 | プランターは持ち帰り各自で管理する。 | 共同ほ場で実施し、収穫作物は、受講生で分配する。 |
| | 受　講　料 | 概ね１千円～３千円（材料費相当分） | |

# ９　農業委員会

(1)　農業委員会の構成

（平成２３年１月１日現在）




(2)　農地法関係申請・届出等の処理状況（平成２２年）

| 区　　分 | | 件　数 | 面　積（㎡） |
|---|---|---|---|
| 農地法第３条関係（権利の移動） | | 75 | 98,680 |
| 農地法第４条関係 | 許　可 | 29 | 9,681 |
| （自己所有地の転用） | 届　出 | 28 | 13,983 |
| 農地法第５条関係 | 許　可 | 167 | 184,108 |
| （権利移動を伴う転用） | 届　出 | 100 | 38,373 |
| 農地法第１８条関係（賃貸借の解約） | | 94 | 155,800 |

# １０　農業経営基盤強化促進事業

## (1)　事業概要

ア　農用地の遊休地をなくし、有効利用を図る。

イ　認定農業者の育成を図る。

ウ　安心して農地を貸すことができる。

エ　申し込みの窓口は農協支店で手続きが簡単。

オ　借り手農家は市の認定した認定農業者に限定。

カ　市、農協、農業委員会、営農部会の各機関が相談窓口。

キ　集落ごとに設立した農用地利用改善組合（３８組合）を通じ、日常活動中で積極的に推進を図る。

## (2)　集落別利用権設定農地面積の状況

平成２３年１月現在　　単位：ａ

| 地区名 | 面　積 | 地区名 | 面　積 | 地区名 | 面　積 |
|---|---|---|---|---|---|
| 里 | 9,800(44.6) | 東尾・河野 | 2,203(22.2) | 根崎 | 7,605(50.9) |
| 志貴 | 5,617(39.9) | 横山 | 1,444(40.3) | 城ケ入 | 5,481(45.4) |
| 浜屋 | 1,441(55.5) | 箕輪 | 5,266(48.9) | 東端 | 8,459(43.9) |
| 今村 | 2,734(53.8) | 二本木 | 2,758(53.7) | 堀内 | 3,242(57.0) |
| 篠目・井杭山 | 1,978(28.9) | 高棚 | 25,172(61.6) | 藤野 | 2,291(23.1) |
| 池浦 | 2,130(42.0) | 福釜 | 14,447(60.4) | 桜井 | 9,564(47.9) |
| 新田 | 2,732(34.7) | 赤松 | 9,299(57.8) | 東町 | 903(31.9) |
| 三別 | 2,671(67.8) | 古井 | 2,507(43.1) | 姫小川 | 402(27.1) |
| 平貴 | 7,458(50.1) | 石井 | 2,399(65.9) | 小川 | 7,460(33.5) |
| 上条 | 768(21.6) | 和泉 | 8,583(53.4) | 三ツ川 | 6,178(26.6) |
| 西尾 | 4,305(41.4) | 榎前 | 5,647(55.5) | **計３２集落** | **172,944(46.3)** |

＊　面積は属地による。　（　）内は設定率%

(3) 利用権による経営規模拡大状況

単位：人、％

| 農業経営規模 | 平成８年７月 | | 平成１７年７月 | | 平成２３年１月 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 受け手 | 構成比 | 受け手 | 構成比 | 受け手 | 構成比 |
| 7ha 以上 | 59 | 45.7 | 60 | 42.8 | 60 | 70.6 |
| ７～５ | 15 | 11.5 | 4 | 2.9 | 3 | 3.5 |
| ５～３ | 13 | 10.0 | 11 | 7.9 | 5 | 5.9 |
| ３～２．５ | 2 | 1.5 | 1 | 0.7 | 1 | 1.2 |
| ２．５～２ | 9 | 6.9 | 8 | 5.7 | 4 | 4.7 |
| ２～１．５ | 10 | 7.6 | 15 | 10.7 | 3 | 3.5 |
| １．５～１ | 15 | 11.5 | 25 | 17.9 | 3 | 3.5 |
| １～０．７ | 3 | 2.3 | 6 | 4.3 | 1 | 1.2 |
| ０．７～０．５ | 1 | 0.7 | 7 | 5.0 | 0 | 0 |
| ０．５～０．３ | 3 | 2.3 | 3 | 2.1 | 5 | 5.9 |
| 計 | **130** | **100.0** | **140** | **100.0** | **85** | **100.0** |

＊ 法人の経営規模は、経営面積を当該構成員数で除したもの。

(4) 家 族 経 営 協 定 数

単位：家族

| 年　　次 | 平成 19 年度 | 平成 20 年度 | 平成 21 年度 | 平成 22 年度 | 現調印家族 |
|---|---|---|---|---|---|
| 調印家族数 | 0 | 3（内更新 1） | 5（内更新 2） | 4（内更新 2） | 57 |

# １１　農地保有合理化事業

(1) 事 業 概 要

ア　農業経営の規模拡大、農地の集団化を目指す。

イ　農地保有合理化法人が農地の移動に直接介在し、農業構造の改善を図る。

ウ　主な事業は、農地等の買入れ、売渡し、借入れ、貸付け及び貸借料の一括前払い。

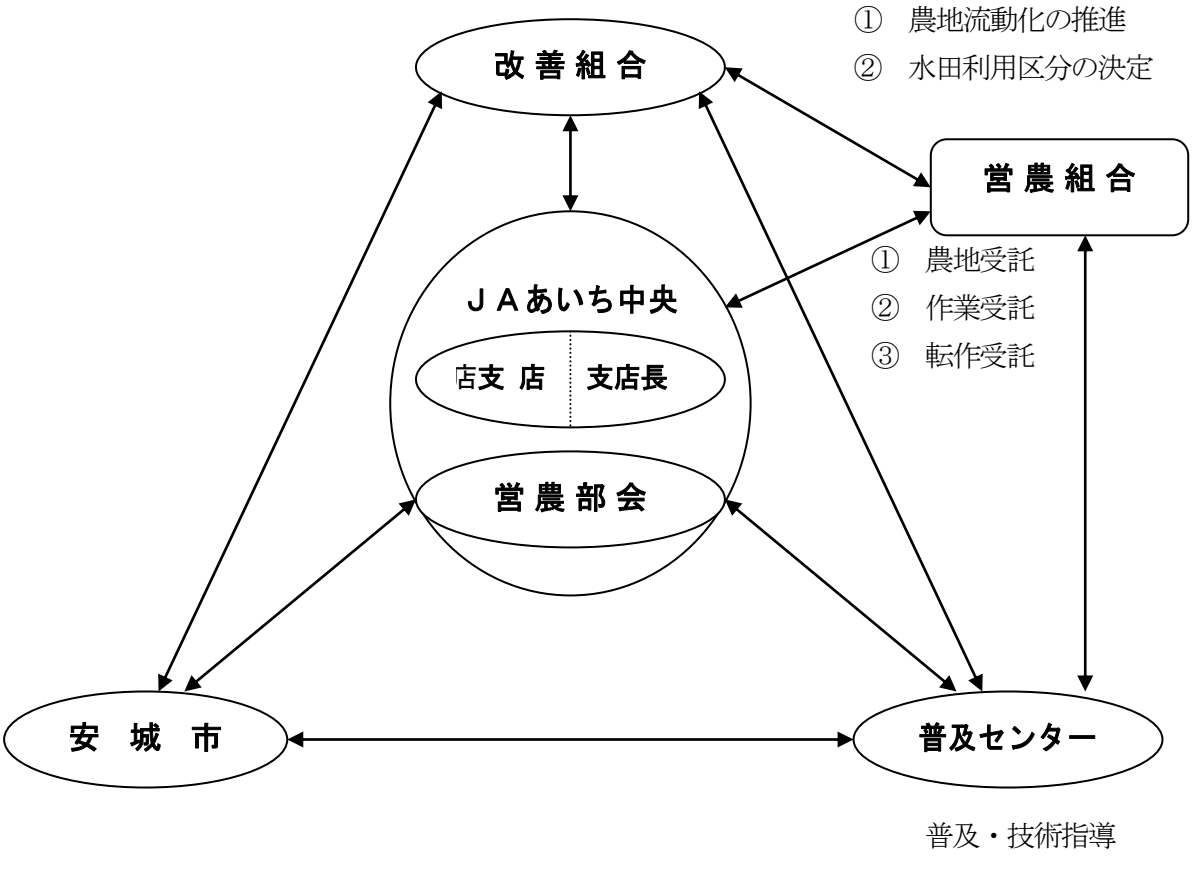
# １２　相続税・農業者年金制度農地

平成２２年１２月３１日現在　単位：ha

| 区　　分 | 農　地 | 相続税（贈与税）<br>納税猶予制度特例農地 | 農業者年金制度<br>特定処分対象農地 |
|---|---|---|---|
| 市街化区域　2,094 | 61 | 6.1 | 1.2 |
| 市街化調整区域　6,507 | 3,768 | 364.7 | 148.5 |
| 計　**8,601** | **3,829** | **370.8** | **149.7** |

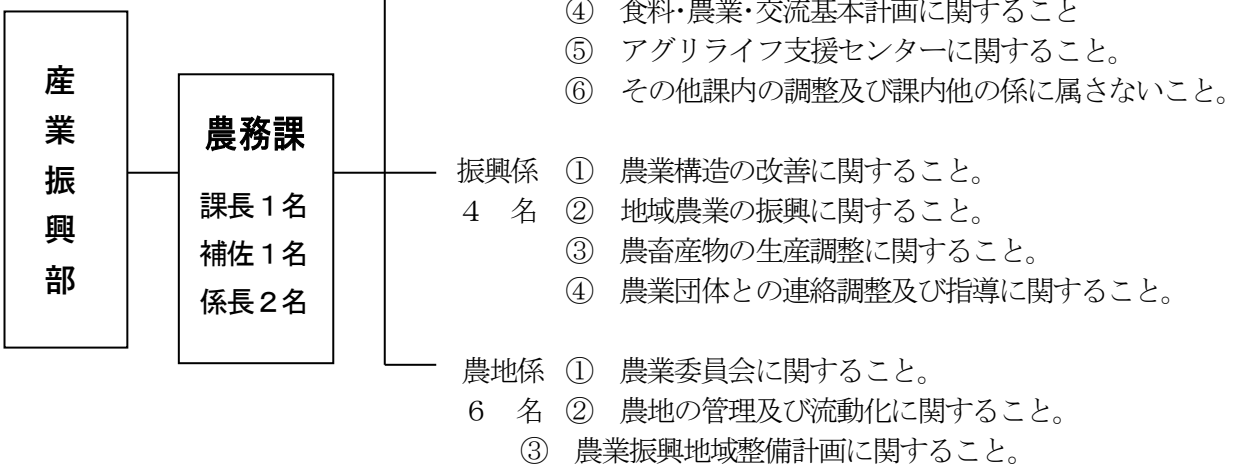
# １３　体系・組織

## (1)　安城市の農業振興体系




## (2)　農務課組織

（平成２３年４月現在）



# １４　安城産業文化公園「デンパーク」

(1)　敷地面積

１３．１ｈａ（ナゴヤドームフィールド・１０個分）

(2)　問い合わせ先

財団法人　安城都市農業振興協会　〒446-0046　安城市赤松町梶１番地
Tel 0566-92-7111　　Fax 0566-92-7115

(3)　主な施設

| 施設の名称 | 面積（㎡） | 施設の内容 |
|---|---|---|
| デンパーク館<br>（総合交流ターミナル施設） | ７３４ | 展示ルーム、情報管理室、研修室　72名、会議室 |
| クラブハウス<br>（農業体験実習室） | ８２０ | 体験ルーム　50名、シャワールーム、ファームキッチン |
| ガーデンレストラン<br>（地域食材供給施設） | ５２５ | ルームタイプ　82名、ロッジタイプ 136名、屋外タイプ　56席 |
| ふるさと館<br>（地域食材供給施設） | ４５３ | 郷土料理レストラン120名、昔の居間コーナー 20席 |
| マーケット<br>（産地形成促進施設） | ９８０ | 販売コーナー、工房コーナー、地元土産コーナー |
| フローラルプレイス<br>（大温室） | ３，８１１ | エントランス（カフェテリア、多目的ホール 72席）<br>アトリウム（憩いの空間、イベント会場、花の情報館、写真館、童話館、花工房、民家、ガーデンルーム） |
| 地ビール工房 | ５１１ | 醸造所、見学コーナー、ブルワリーパブ 75席 |
| マーガレットハウス<br>（無料休憩施設） | ５３６ | 軽食・休憩コーナー、販売コーナー |

(4)　入園者数

| 年　　度 | 平成１８年度 | 平成１９年度 | 平成２０年度 | 平成２１年度 | 平成２２年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 入園者数 | 465,662 | 500,048 | 456,929 | 472,471 | 472,402 |

(5)　補助事業名

農林水産省　　農業農村活性化農業構造改善事業（平成５～６年）
　　地域農業基盤確立農業構造改善事業（平成７～８年）
愛　知　県　　魅力ある愛知づくり事業（平成７～８年）

◆　デンパークのあゆみ

平成元年　２月　　市議会より「農業公園の建設についての要望書」の提出
平成４年　１２月　　基本計画の作成
平成５年　１２月　　公園の名称を**「安城産業文化公園デンパーク」**に決定
平成７年　３月　　クラブハウス・ガーデンレストラン完成
　　１１月　　デンマーク駐日大使来安
平成８年　１月　　デンパーク館完成
　　３月　　マーケット・ふるさと館完成
　　４月　　財団法人　安城都市農業振興協会設立
　　１２月　　花の大温室フローラルプレイス完成
平成９年　２月　　花の大使に女優「紺野美沙子」さんを任命
　　３月　　地ビール工房完成
　　４月　　２４日　竣工式典（参加　550 人）コリング市（デンマーク）友好都市提携

**４月　２９日　グランドオープン**

　　５月　　４日　入園者１０万人達成
　　７月　　１８日　入園者５０万人達成
　　１１月　　２３日　入園者１００万人達成
平成 10 年　３月　　５日　高円宮同妃両殿下　デンパークお成り
　　６月　　７日　入園者１５０万人達成
　　１０月　　１０日　秋穫祭開催にデンマークの「トリトナス」合唱団来園
平成 11 年　２月　　２６日　ジャパン花フェスタに出展
　　３月　　１２日　フラワードーム´９９　ガーデニング部門銀賞受賞
　　**４月　　２４日　入園者２００万人達成**
　　第１回ガーデニングコンテスト開催
　　ＡＮＪＯフラワーフェスティバル´９９をデンパーク館で開催
　　１０月　　９日　秋穫祭開催にデンマーク・コリング市より「コリング・ブラス・カルテット」来園
平成 12 年　１月　　１０日　安城市成人式開催（この年から会場がデンパークで）
　　３月　　１５日　フラワードーム２０００　ガーデニング部門金賞受賞
　　２５日　「風車の広場」オープン
　　４月　　２９日　銀梅花除幕式典
　　デンマーク・コリング市より「コリング音楽学校」来園
　　**１２月　　３日　入園者３００万人達成**

平成13年　1月　　8日　安城市成人式開催
　　4月　１０日　「道の駅デンパーク」開駅
平成14年　3月　１５日　フラワードーム２００２　ガーデニング部門金賞受賞
　　**9月　２３日　入園者４００万人達成**
　　１０月　１２日　デンマーク・コリング市の「コリング・リズミック合唱団」
　　デンマーク「レゴランドバンド」来園
平成15年　7月　２２日　レゴショップリニューアルオープン
　　１０月　　1日　ブライダルスタート
　　１１月　１６日　デンマーク「マーチン・シャック・トリオ」来園
平成16年　**8月　２１日　入園者５００万人達成**
平成17年　4月　１９日　デンマーク王国フレデリック皇太子来園
　　7月　　1日　株式会社デンソーから常務理事を招聘
平成18年　3月　１７日　フラワードーム２００６　フラワーディスプレイコンテスト部門
　　愛知県議会議長賞（銀賞）受賞
　　4月　　1日　安城市指定管理者制度スタート
　　**１０月　３０日　入園者６００万人達成**
平成19年　1月　　1日　株式会社デンソーから事務局長を招聘
　　3月　１５日　フラワードーム２００７　あいち花フェスタディスプレイ部門
　　最優秀賞受賞及びグランプリ受賞
　　3月　１７日　ローラー滑り台「スカイスライダー」新設
　　4月　　1日　開園１０周年記念事業業務委託契約締結（１０周年リニューアル工事）

## ４月　２９日　開園１０周年を迎える

　　自動演奏オルゴール「ポール・ラッシュ」新設
　　１０月　１３日　鉄砲山整備に向けた子どもＷＳ開催
　　１０月　１４日　鉄砲山整備に向けた大人ＷＳ開催
平成20年　3月　　1日　メルヘン号リニューアル（ＢＤＦ化）※廃油の回収開始
　　**１１月　２３日　入園者７００万人達成**
平成21年　2月　２２日　鉄砲山整備市民作業ＷＳ開催
　　3月　２０日　デンパーク鉄砲山リニューアル式典
　　不思議の森リニューアル
　　3月　２６日　開園１０周年リニューアル工事終了
平成22年　4月　　1日　アイシン・エイ・ダブリュ㈱より常務理事を招聘
　　**１２月　２２日　入園者８００万人達成**
平成23年　3月　１９日　新メルヘン号導入（BPF）

## １５　道の駅デンパーク安城

(1) 施 設 内 容　　休憩・道路情報案内コーナー（６４㎡）
　　物販・産直品コーナー（１１４㎡）

(2) 事　業　費　　１６８百万円

(3) 問い合わせ先

**道の駅デンパーク安城**
〒４４６－００４６　　安城市赤松町梶５番地
Tel ０５６６－９２－７１１４

## １６　あいち中央農業協同組合

(1)　設立の経緯

平成８年４月１日にＪＡ碧南市、ＪＡ刈谷市、ＪＡ安城市、ＪＡ高浜市、ＪＡ知立市の碧海地区の５ＪＡが合併してＪＡあいち中央として発足しました。

(2)　組合員・役員・職員数

平成２２年３月末現在

| 組合員数（人） | | | 役員数（人） | | | 職員数（人） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 正組合員 | 准組合員 | 合　計 | 理 事 | 監 事 | 合 計 | 一般職員 | 営農指導員 | 生活指導員 |
| 13,856 | 24,974 | 38,830 | 32 | 6 | 38 | 1,051 | 26 | 16 |

(3)　事業所

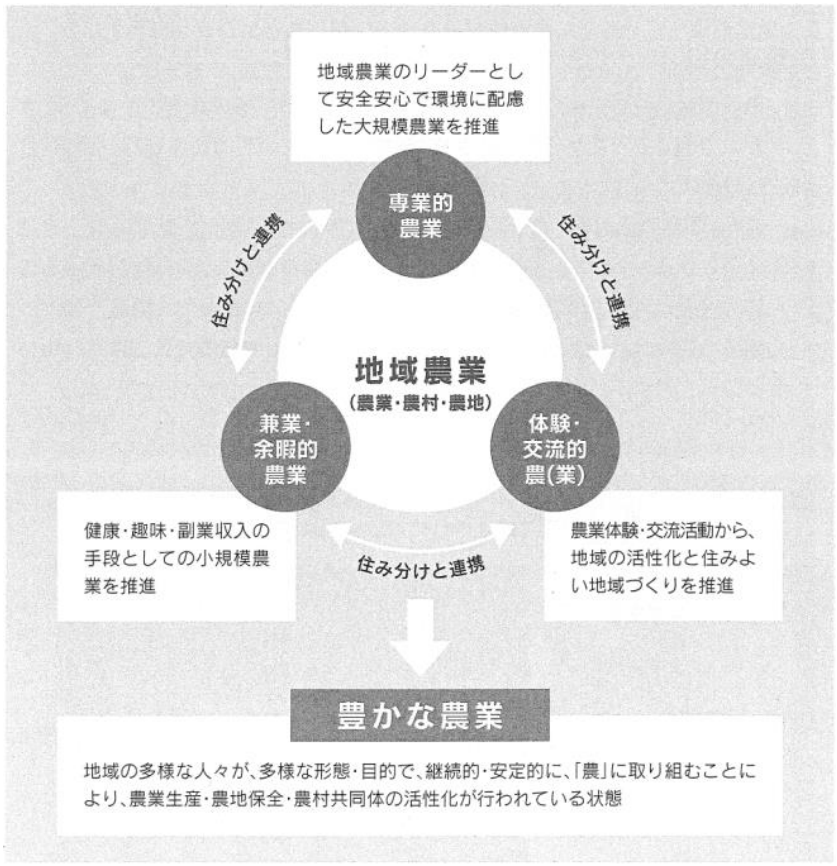
平成２２年３月末現在

| 事業所 | | 事業所 | | 事業所 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 本　店 | 1　(1) | ＬＰ販売所 | 3　(1) | 資産相談センター | 3　(1) |
| 支　店 | ３０　(13) | 営農センター | １０　(3) | 旅行センター | 1　(1) |
| 電算センター | 1　(1) | 給油所 | 5　(3) | グリーンセンター | 3　(2) |
| 産直センター | 8　(4) | 農機センター | 4　(2) | カントリーエレベーター２ | (1) |
| デイサービス | 2　(1) | セレモニーホール | 4　(1) | 自動車整備工場 | 1　(1) |
| ライスセンター | 3　(0) | 精米工場 | 1　(1) | | |

**＊（ ）内は安城市内に所在する事業所の内数**

(4)　営農振興計画

伝統的な農業地帯でありながら急速な都市化が進行しているという特性を踏まえつつ、地域農業の安定的・継続的な維持発展を確保するためのテーマとして、多様な目的で農に参画している農業者が農家の単位であり生活の単位でもある地域農業といつ大きな枠組みの中で共生し。お互いに住み分け助け合いながら地域農業・農地・農村の維持発展に取り組む**「豊かな農業の実現（追求）」**を推進していきます。



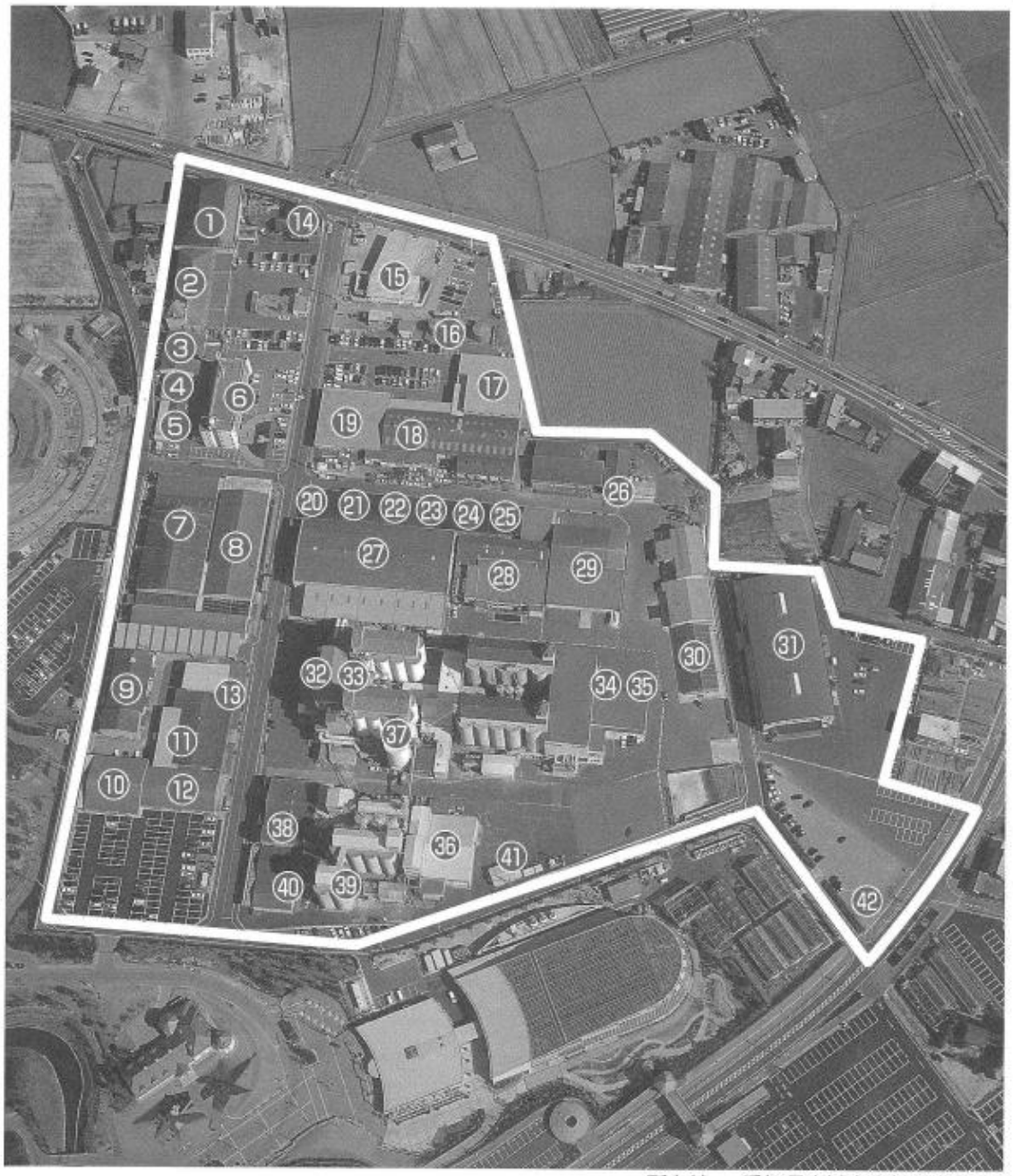

・「豊かな農業」の６つのキーワード

| | | |
|---|---|---|
| 多様な担い手 | … | ・専業的農家、兼業的農家の担い手育成<br>・就農者、就農希望者への支援 |
| 強い経営体 | … | ・効率的、合理的な生産体制（規模拡大、作業分散等）<br>・販売を基点とした生産指導（ブランド化、加工等） |
| 農地利用 | … | ・農地の所有と利用の分離<br>・団地化（面的集積、適地適作） |
| 安全安心 | … | ・環境と調和した農業の拡大（エコファーマー等）<br>・環境と調和した資材の拡大（生物農薬等） |
| 農業理解・交流 | … | ・農業体験と連動した食農教育の実践<br>・産直、学校給食を中心とした地産地消の拡大 |
| 農を通じた地域づくり | … | ・ＪＡによる「くらしの拠点」としての地域活動<br>・　村まつり、伝統文化の継承 |

(5)　ＪＡあいち中央総合センター（集合施設）の概要

| No. | 施設名 | 完工年月 | 事業費(万円) | 構造 | 面積㎡ | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 生活館 | H02.05 | 29,950 | 鉄筋コンクリート | 1,373 | |
| 2 | 精米工場 | S63.10 | 15,749 | 鉄筋カラーベスト | 772 | H13.02精米設備一部更新 |
| 3 | 生活 新予約共同購入集配センター | H14.05 | 1,000 | 鉄骨折板 | | 旧肥料倉庫改装 |
| 4 | 燃料センター事務所 | H11.10 | 813 | 鉄骨折板 | 69 | 旧安城中部営農サブセンター |
| 5 | 燃料倉庫 | S47.10 | 132 | 鉄骨スレート | 84 | 旧農薬庫 |
| 6 | 総合センター事務所 | S48.08 | 12,140 | 鉄筋コンクリート | 1,215 | H06.06改装 |
| 7 | 資材倉庫 | S43.08 | 1,182 | 鉄骨スレート | 1,367 | |
| 8 | 梨選果場 | S48.07 | 5,349 | 鉄骨スレート | 1,081 | 処理能力年間1,000t |
| 9 | いちご選果場 | S46.03 | 2,595 | 鉄骨ブロック | 560 | H10.12改修 |
| 10 | いちじく集出荷場 | S54.08 | 2,250 | 鉄骨スレート | 311 | H12.12冷凍機更新 |
| 11 | 予冷保冷庫 | S59.10 | 8,930 | 鉄骨スレート | 438 | トンネル式予冷庫 |
| 12 | 大豆集出荷場 | S56.07 | 4,877 | 鉄骨スレート | 853 | |
| 13 | パテコン収納庫 | S56.03 | 7,000 | 鉄骨スレート | 140 | |
| 14 | 安城中支店 | H19.11 | 12,600 | 鉄骨2階 | 486 | |
| 15 | 総合センター給油所 | S47.07 | 3,650 | 鉄筋コンクリート | 2,450 | H18.08改修 |
| 16 | 石油基地 | S50.04 | 660 | | 116 | H04.計量機更新、H17.11改修 |
| 17 | 農業機械センター | S46.03 | 9,300 | 鉄骨ブロック | 2,100 | H01.06改増築 |
| 18 | 自動車整備工場 | S46.03 | 6,060 | 鉄骨スレート | 879 | H07.08増築 |
| 19 | 自動車展示場 | S62.10 | 2,300 | 鉄筋折板 | 312 | H06.05改装 |
| 20 | 営農資材倉庫 | H14.05 | 2,000 | 鉄骨折板 | | 旧バス車庫等改装 |
| 21 | 農薬庫 | | | | | |
| 22 | 営農部（営農資材） | | | | | |
| 23 | 安城営農センター | | | | | |
| 24 | 営農配送センター | | | | | |
| 25 | 肥料倉庫 | | | | | |
| 26 | プロパン庫 | H05.12 | 320 | 鉄骨ブロック | 47 | |
| 27 | 低温倉庫 | S44.10 | 9,400 | 鉄筋コンクリート | 1,565 | 収容能力10万俵 |
| 28 | 種子センター | S45.10 | 1,259 | 鉄骨折板 | 930 | H06.03増築 |
| 29 | 花卉集出荷場 | S51.09 | 1,500 | 鉄骨スレート | 330 | |
| 30 | 育苗センター | H06.03 | 15,000 | 鉄骨スレート | 863 | |
| 31 | 胡瓜選果場(カッパドーム) | H08.12 | 74,000 | 鉄骨スレート | 3,240 | 処理能力5,500t |
| 32 | カントリーエレベーター1号基 | S47.01 | 70,000 | 鉄骨折板 | 610 | 各1基2,000t<br>H02.06改修 |
| 33 | カントリーエレベーター2号基 | S48.03 | | | | |
| 34 | カントリーエレベーター3号基 | S49.03 | 90,000 | 鉄骨折板 | 993 | 各1基2,500t・色彩選別機導入・H06.08改修 |
| 35 | カントリーエレベーター4号基 | S50.03 | | | | |
| 36 | カントリーエレベーター5号基 | S55.03 | 55,000 | 鉄骨折板 | 760 | 1基2,500t　H15改修工事色彩選別機導入 |
| 37 | 籾穀タンク | H01.08 | 2,245 | | | 容量700㎥ |
| 38 | 麦バラ出荷場 | S57.12 | 17,000 | 鉄骨スレート | | |
| 39 | 麦専用サイロ | S57.12 | | | | 5基併設1,000t |
| 40 | 飼料倉庫 | S50.08 | 808 | 鉄骨スレート | 275 | |
| 41 | 穀物検査場 | H16.03 | 1,610 | 鉄骨折板 | 151 | |
| 42 | カントリーヴィレッジ(喫茶) | H19.01 | 3,572 | 木造 | 164 | 客席62 |

【総合センター全体写真】




所在地･･･愛知県安城市赤松町浄善50

安　城　の農　業

発　行　安 城 市 農 務 課
発行日　平成２３年５月